

## 縄文人は現代人より防災意識が高かった!! (文化財保護委員 中村 正博) 県知事は「かながわ気候異常事態宣言」を発し、県民に『危機感の共有』を訴える

問 教育課

学校教育係 ☎ (83) 7023  
生涯学習係 ☎ (83) 7021

# 学びの広場

2021  
9月号

「北海道、北東北の縄文遺跡群（17遺跡）」が、世界文化遺産に登録されました。松田町でも庶子城山地区の縄文住居跡を町指定史跡としています。国際的に評価された日本の縄文文化が1万年にわたる社会の持続をなし得たのは、自然に即したものであったからです。町の縄文住居史跡も全国の縄文史跡同様に比較的高台に集落が形成され、生活の利便性だけでなく、防災も意識されていたと思われます。現代社会は、100年ほどで持続不可能なほどの自然破壊が進み、全国各地で自然災害が多発、昨年、県知事は、気候異常事態宣言を発令、県民に危機感の共有を訴えました。箱根地域では、昨年1000mm/日の豪雨となり、これは、現在の防災施設では安全確保が難しい雨量です。

\*8月号の「神山自治会の生涯学習活動について」は神山自治会長の北村重治さんにお話をうかがいました

**命を守る自助、共助で早めの分散避難計画を!** (町安全防災担当室、県西土木事務所ヒアリングより作成)

場所 ほか	安全目安雨量 ほか	避難時の危険要素
川音川両岸 (激流河川:酒匂川の約2倍)	約350mm/24H以下 (連続雨量)	短時間増水、堤防決壊 浸水20cmでも歩行困難になる
酒匂川両岸 (急流河川)	約530mm/24H以下 (連続雨量)	浸水で水路がわかりにくくなる 夜間は特に注意
松田山塊傾斜地および沢水路	想定雨量対象外	土石流、沢水路氾濫、暗渠開渠確認
線状降水帯情報(気象庁)	現在予報不可能	発生時情報発信(避難に間に合わず)

## 松田 文化財探訪

### 統・町指定文化財とその周辺 その22

文化財保護委員 鈴木 一<sub>すずき</sub> 行<sub>かずゆき</sub>

#### 中尾農道に沿って(九) 最明寺史跡公園①

中尾農道の終点、松田山山頂付近に最明寺史跡公園（町指定文化財）はあります。この辺りはビルクライムの穴場的なコースで、自転車で訪れる方も多いいるとのこと。公園の入口付近には八世紀初頭の登窯「からさわ瓦窯跡」（町指定文化財）が移築されており、小田原市の千代寺院跡との関係などを記した説明板も設置されています。

さて、最明寺（当時は「西明寺」と記した）が開かれてから、今年でちょうど八百年。コロナ禍ではありましたが、四月十日には公園内の護摩堂跡で記念の法要も行われました。実は、「開山八百年」と申しますが、源延が最たが、源延が最

牛山氏によれば、現当二世（この世とあの世）の救済を特徴とする善光寺信仰は、平安中期頃に畿内から始まり、鎌倉期に武士層に受容され

て全国に広がりました。この信仰の証左となるのが善光寺如来の模刻像や各地に建立された新善光寺だというのです。そして氏は、呼称は違つても模刻像を祀る最明寺は「最古の新善光寺であつた可能性がある」と述べています。



ハザードマップと合わせて右表を参考に分散避難計画を作成し、危機に備えてください。空振り避難を嫌がらず、早めの避難をお願いします。

縁起』に「源延が善光寺如来の模刻像を完成さ